

令和 8 年度 解析学 I について

2026 年 6 月 9 日

- 担当者……滝本 和広 (たきもと かずひろ)
研究室……理学部 A 棟 314 号室 (内線: 7332)
E-mail: ktakimoto@hiroshima-u.ac.jp
- 講義は対面およびビデオ・オン・デマンドのハイブリッドにて行います。対面では毎週火曜日の 16:20~17:50 と木曜日の 8:45~10:15 に理 E104 にて行います。中間試験を 7 月上旬頃に、期末試験を 8 月 4 日 (火) に、それぞれ対面にて行う予定です。
- 解析学 I 演習は対面にて毎週水曜日と金曜日の 12:50~14:20 に理 E210, E211 にて行います。クラス分けについてはもみじ掲示, Moodle または数学図書室横の掲示板 (理学部 A 棟 2 階) をご覧ください。担当は滝本と助永真之先生 (研究室: 理 A316) です。また, T.A. を旭崇太さん (院生室: 理 A120) と林太陽さん (院生室: 理 A121) が務めてくださいます。
- オフィスアワー (OH) を水曜日 7,8 時限 (14:35~16:20)のあたりに設けますが、出張・会議・セミナー・その他の理由で不在になることもあります。なお, OH 以外の時間でも、数学に関する質問や相談はいつでも構いません。
- 解析学 I から解析学 IV までの 2 年間で微分積分学の基礎を学習します。解析学 I で扱う予定の内容は次の通りです。
 - ★ 実数の連続性 (教科書では 2.1 節)
 - ★ 数列の収束・発散 (2.2 節)
 - ★ 級数の収束・発散 (2.6 節)
 - ★ 関数の極限と連続性, 連続関数の性質 (2.3 節, 2.4 節)
 - ★ 関数の微分 (3.1 節~3.3 節)なお, 教科書第 1 章 (序論) の内容は事前に各自読んでおいてください (必要があればその都度講義でも扱います)。
- 本講義の成績は、講義・演習共通で行う中間試験・期末試験の得点 (85% 程度) を基に、レポート課題や小テスト等の平常点 (15% 程度) を加味して評価を行います。
- 講義の成績と演習の成績は独立に付けますが、中間試験・期末試験の得点は演習の成績にも反映されます。また、合否のボーダーライン付近ではお互いの成績を参考にすることもあり得ます。
- 配布したプリントや講義に関する情報等は、ホームページ：
<https://www.math.sci.hiroshima-u.ac.jp/takimoto/R8Kai1.html>
にも置いておきます。また、ファイルをホームページ・もみじおよび Moodle にも置いておきますのでご覧ください。

● 教科書・参考書について：

☆教科書

- [1] 鈴木 武・山田 義雄・柴田 良弘・田中 和永
「理工系のための微分積分 I」内田老鶴圃

★参考書

- [2] 白岩 謙一「解析学入門」学術図書出版社
[3] 吹田 信之, 新保 経彦「理工系の微分積分学」学術図書出版社
[4] 笠原 皓司「微分積分学」サイエンスライブラリー数学 12, サイエンス社
[5] 小平 邦彦「解析入門」岩波基礎数学選書, 岩波書店
[6] 高木 貞治「解析概論」岩波書店

その他, 演習書を持っておくことを強く推奨します.